

第2回 令和3年度新入生 保護者説明会

2021年2月13日（土）

杉並区立和田中学校長 田口 克敏

- 1 次の各問に答えよ。
- 〔問1〕 次の図は、神奈川県藤沢市の「江の島」の様子を地域調査の発表用資料としてまとめたものである。この地域の景観を、●で示した地点から矢印➡の向きに撮影した写真に当てはまるのは、下のア～エのうちではどれか。

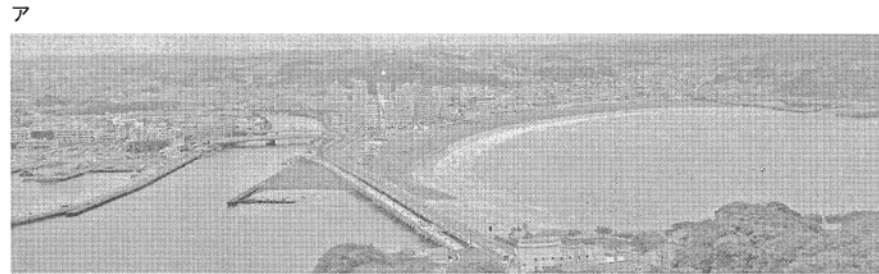
発表用資料

江の島の地域調査 調査日 令和元年11月16日(土) 天候 晴れ
 自然地理コース トンボロ(陸繋島) → ヨットハーバー → 海食台と海食崖

○ 片瀬江ノ島駅から海岸沿いを進み、●で示した地点から➡の向きに写真を撮った。

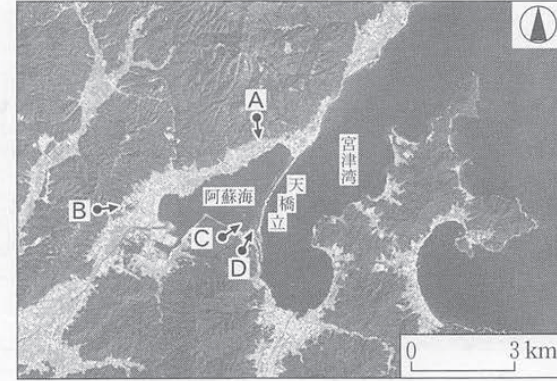
南側 展望灯台 北側
 60m
 海食台 海食崖
 船から江の島が見られる。
 江の島 ヨットハーバー 東京2020オリンピック・パラリンピックの準備が進んでいる。

- 江ノ島大橋を渡る時には、橋の下に、砂が堆積した部分が見えた。
- 島の東側を南に進むと、切り立った崖が見えた。
- 島の南側では、海が浸食した地形が観察できた。



地理B

- 問3 宮津湾と阿蘇海の間にある砂州は天橋立と呼ばれ、有名な観光地であることを知ったタロウさんは、様々な地点から天橋立の写真を撮影した。次の図4は、図1中のXの範囲を示したものであり、下の写真1は、図4中の地点A～Dのいずれかから矢印の方向に撮影したものである。地点Aに該当するものを、写真1中の①～④のうちから一つ選べ。 29



地理院地図により作成。

図 4



①



②



③



④

写真 1

和田中学校生徒のいま



今とこれからの
和田中学校は
何に取り組み
どこを目指して
いくのか？

- 「新型コロナウイルス感染症」への対応
- 「学びの構造転換」を目指す教育課題研究
- 「新学習指導要領」を踏まえた「評価力」の向上
- 「授業評価」の実施・分析と「授業の約束」の徹底
- 「自尊感情」「ハイパーQ」調査と分析を基にした生徒理解
- 「道徳科」の全教職員による実践と評価方法の改善
- 「情報リテラシー」の現状分析と育成
- 「SDGs」を基盤とした「よのなか科」リニューアル
- 「地域本部」との連携強化による「各種検定」等の推進
- 「小学生部活動体験」の改革と「授業体験」の改善
- 「特定課題調査」の分析と「授業改善プランへの反映」
- 「ボランティアノート」の活用による「地域への貢献」等

※青字は、前年度は実施したが新型コロナウイルス感染症のために今年度実施できていないもの

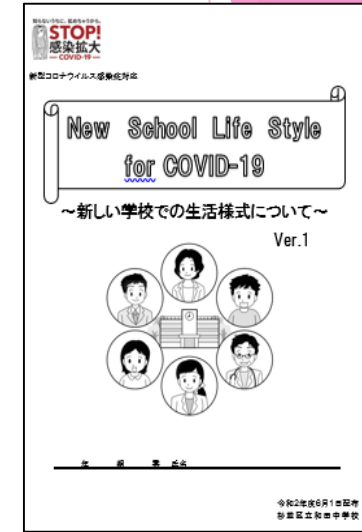
◎ 「新型コロナウイルス感染症」への対応

和田中学校は
全教職員と保護者・地域との連携で
工夫しながら
「新型コロナウイルス感染症」に
対応しています

◎ 「新型コロナウイルス感染症」への対応



保護者と全教職員による放課後の「消毒作業」（令和2年6月1日から継続実施）



本校独自の
新型コロナ
ウイルス
対応
マニュアル



地域の方による生徒の水筒への給水作業



換気を促すピクトグラム



換気と空調効率を両立させる

◎ 「学びの構造転換」を目指す教育課題研究

和田中学校は
学校の主役である生徒が
自ら考え判断し、主体的に学び
行動化していく資質を育成するため
授業を始めとした
「学びの構造転換」に
取り組んでいます

◎ 「学びの構造転換」を目指す教育課題研究

- ・ 「学びの主導権」を子どもの手に
- ・ 「教え込む」「説明しつくす」教育活動から脱却する
- ・ 考え、行動する主体は「生徒」
- ・ 「あなたはどうか考える？」「なぜそう思う？」など適切な問いかけにより、思考を内面化させる
- ・ 自らの授業のあり方を検証するために今年度、全教員が「研究授業」を実施
- ・ 文科省・国立教育政策研究所等で活躍された日本体育大学教授の角屋重樹先生のご示唆から、生徒に還元できる指導の方向性を学び取っている

課題整理 授業づくりの視点

「すべ」を育む声かけの工夫で、授業の質を高める

日本体育大学大学院 教育学研究科長 角屋重樹

子どもたちの資質・能力を育むためには、どのような視点で授業づくりを進めればよいか、長年、理科教育を中心にPISA型学力の育成を研究し、子どもたちに学ぶ「すべ(術)」を身につけさせることを提唱している日本体育大学大学院の角屋重樹教授に話を聞いた。

「資質・能力をどう伸ばすか 日問題伝送の背景に「すべ」の育成の欠如

新学習指導要領で掲げられた「資質・能力」(調1)にそもそも大きな影響を与えたのは、PISA¹⁾です。PISAはこれまでも、文部科学省の施策や学習指導要領に大きな影響を与えてきました。国際化や情報技術の進展などにより、主体性や自己の確立、他者に考えを的確に伝える表現力などが今後ますます求められていきますが、同調査の結果から日本の子どもはそのような力が十分でないことが明らかになりました。特



に、根拠を持って自分の言葉で考えを述べる問題で、諸外国の子どもと比べて無答率が高かったのです。そこで、文部科学省は、思考力・判断力・表現力や主体性などの育成を強化するため、2007年に学校教育法を改正し、①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等、③主体的に学習に取り組む態度という「学力の3要素」を示しました。PISAでは「思考力・判断力・表現力」が重視されていますが、日本の学力観では「知識・技能」も重視しているのが特徴で、3要素をバランスよく育むことを目指しています。そうした考えの下、「全国学力・学

習状況調査」は、基礎的な知識・技能を測る「A問題」と、知識・技能の活用能力を測る「B問題」で設計されています。ところが調査開始以降、A問題と比べてB問題の正答率が低い状態が続いており、記述式問題の無答率の高さも問題視されています。それはこの背景に、B問題を解くために必要な思考力・判断力・表現力を身につける「すべ」を、学校できちんと育んでこなかったことが、大きな原因としてあると見えています。「すべ」はスキルや方法とも異なるもので、それを繰り返し使うことで型が身につく。そこに自分なりの工夫を加えることで、資質・能力が育まれていくのです。子どもには、学ぶために必要な

■1 新学習指導要領で育成を目指す「資質・能力」の3つの柱



「確かな学力」「確やかな体」「豊かな心」を総合的にとらえて構造化

何を理解しているか 何ができるか → 知識・技能

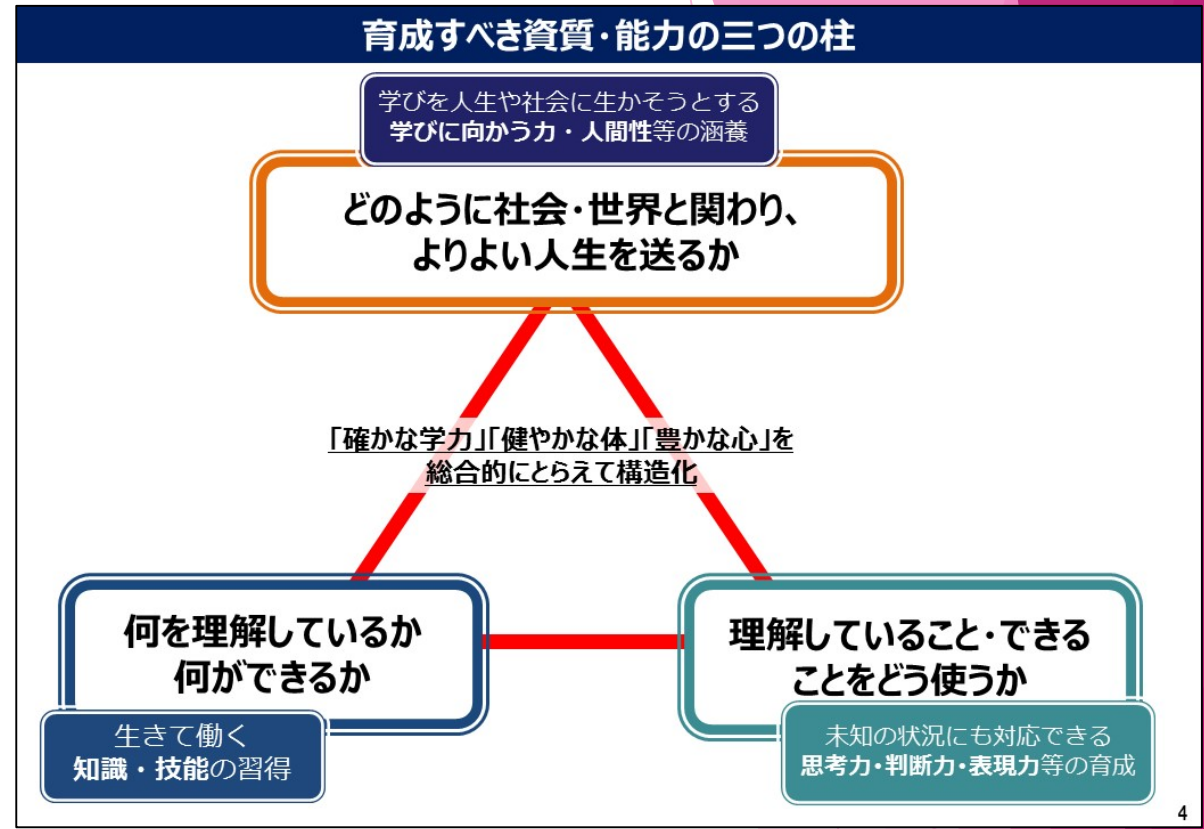
理解していること・できることをどう使うか → 思考力・判断力・表現力等

1) 全国教育実況調査(2006年、2009年、2012年)、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び関係方支援について(「すべ」を身につけさせる)の試み

2) PISA調査

◎ 「新学習指導要領」を踏まえた「評価力」の向上

和田中学校は
新学習指導要領の
全面実施に向け
育成すべき「資質
・能力の三つの柱」
を踏まえた「評価力向上」に取り組ん
でいます



◎ 「新学習指導要領」を踏まえた「評価力」の向上

・ 和田中学校の「評価力」向上の流れ

①2018年度：「定期考査改革スタート」

主に「知識・理解」の成績に偏っていた「評価」を、各教科ごとに定期考査における観点別評価割合を一覧化したことにより、教員自身が「評価方法」のアンバランスな実態について客観的に認識

「知識・理解」以外の評価の充実を図るため「定期考査改革」を進める

②2019年度：「期末考査」の日程短縮 観点ごとの評価バランスの均衡化

日常の取組みの評価割合を増やし、「一発勝負」となる定期考査に依存した評価体制を改善することで、試験内容のボリュームの簡素化により日程短縮を実現
各授業において多面的に生徒の学力を評価する取組みを進める

③2020年度：「評価計画（シラバス）」の公表 定期考査の役割の適正化（学期1回の実施）

5月に「評価計画（シラバス）」を公表したことにより、保護者からの「どのように評価をつけているのか？」という問いにあらかじめ答える

このことにより、今年度の成績に関する問い合わせは「皆無」となった

評価場面や方法の多様化により、定期考査回数削減が可能となったため、学期に1回の実施とした

このことにより生まれた時間を「生徒のための時間」に振り向けた

◎ 「新学習指導要領」を踏まえた「評価力」の向上

例：令和2年度 中学2年国語の評価計画（部分）

学期	観点	評価資料	観点別評価の「B」を達成する基準	観点別評価に占める割合
1学期	【関】	A ノート	学習内容を適切にまとめ、課題に対する自分の考えを書くことができる。	10%
		B 教科書ワーク	学習内容に関心をもち、指定された範囲の課題を自ら進めることができる。	10%
		C 学習の記録	学習内容に関心をもちとともに、ねらいについて理解したことや疑問、自分の考えをまとめることができる。	35%
		D 読書の記録	指定された分野の図書を読み、記録することができる。	15%
		E 作文(臨時休業中課題)	学習の課題に沿って物語を読み、登場人物の生き方を捉え、自分の意見を述べるすることができる。	20%
		F 朗読の工夫(臨時休業中課題)	内容が効果的に伝わるように、読み方を工夫することができる。	5%
		G 問題作成(臨時休業中課題)	文章を読み、考えを広げたり深めたりする課題を自分で設定することができる。	5%
		【話】	A プレゼンテーション	聞き手の反応を見ながら、話す速さや声の大きさ、調子を工夫して話すことができる。
	B プレゼンテーション評価		構成や話し方に注意しながら聞き、要点をまとめることができる。	10%
	C プレゼンテーション会議		他の人のプレゼンテーションについて、聞き手の立場から改善点を述べるすることができる。	10%
	D 聞き取り(2回)		メモを取りながらまとめた内容の話を読み、要点を捉え、内容を振り返ることができる。	20%
	E 話し合いと記録		複数の話し手の考えと自分の考えを比較しながら、意見をまとめることができる。	10%
	F ペアの話し合いと記録		相手を見ながら自分の考えを述べるとともに、相手の考えの要点を捉えることができる。	10%
	G 枕草子		内容や表現を根拠にして文章を評価し、自分の考えを述べるすることができる。	10%
	H 読書紹介		一冊の図書を選択し、内容や表現を根拠にしてその図書の良さを伝えることができる。	
	【書】	A 職業ガイド		
		B 短作文(ワーク)		
		C 作文(枕草子)		
		D 作文(物語)		
		E 作文(意見文)		
		F 図書紹介		
	【読】	A 定期考査		
		B ワークシート(詩)		
		C ワークシート(物語)		
		D ワークシート(説明)		
		E ワークシート(短歌)		
		F ワークシート(随筆)		
	【言】	A 定期考査		
B 枕草子				
C 小テスト(文法)				
D 小テスト(漢字)				
E 類義語・対義語・多義語				
F 熟語		熟語の構成についておおむね理解し、具体的に示すことができる。	5%	

令和2年度に初めて実施した「評価計画」の公表資料
 各学期ごとの「通知表」に記載される「成績（評価）」が、各観点ごとにどのような「評価資料」により構成され、「おおむね満足」とする「B評価」の基準は何で、ひとつひとつの「評価資料」が各観点別にどんな「割合」を占めているかを示している
 保護者からよくある問い「どのように成績をつけているのですか？」に対してあらかじめ答える
 令和3年度は「新学習指導要領」に対応し全教科「3つの観点」に基づき作成

◎ 「授業評価」の実施・分析と「授業の約束」の徹底

和田中学校は
生徒にとって
分かりやすい授業を増やすために
「授業評価」を実施しその結果を
分析・考察し
「授業改善」に活用しています

◎ 「授業評価」の実施・分析と「授業の約束」の徹底

取扱注意

「授業評価」報告書

(3分冊の1)



2018(平成30)年8月
杉並区立和田中学校

2018年度から
常勤全教員の授業
について
毎年1回実施して
います

生徒の目線に立った「授業改善」

- その1 はっきりとした聞き取りやすい声で説明します
- その2 わかりやすく説明します
- その3 板書は丁寧に書きます
- その4 毎時間、学習課題（めあて）を提示します
- その5 前時の内容を振り返ります

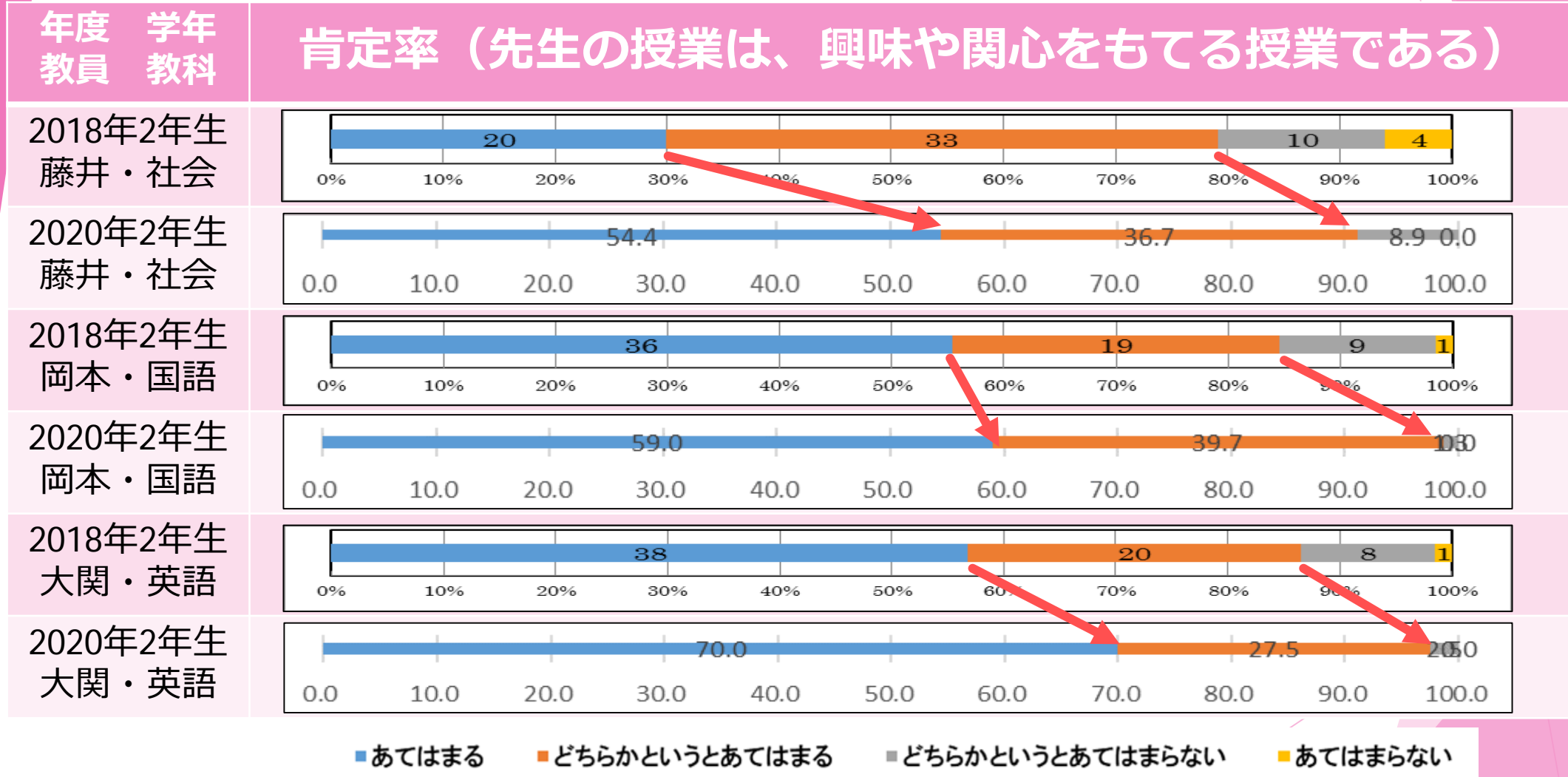
2018年12月制定

和田中学校 授業の約束

- その1 はっきりとした聞き取りやすい声で説明します。
教室にいるすべての生徒に聞こえる声、聞き取りやすい声で授業を行う。
- その2 わかりやすく説明します。
説明は構造化し、単純化して生徒の頭に入りやすいようにする。
- その3 板書は丁寧に書きます。
教科書の内容等を構造的に黒板に書くことで、生徒の理解を促す。
- その4 毎時間、学習課題（めあて）を提示します。
50分という時間の中で、生徒に定着させる知識・技能等を明確化する。
- その5 前時の内容を振り返ります。
前時の学習内容を生徒に想起させ、前時の内容を踏まえた授業を行う。学習を振り返り、積み重ねることで、知識の定着を図る。（反復学習）

◎ 「授業評価」の実施・分析と「授業の約束」の徹底

・ 「授業評価」を受けての「授業力向上」の具体的成果例



◎ 「自尊感情」 「hyper-QU」 調査分析による生徒理解

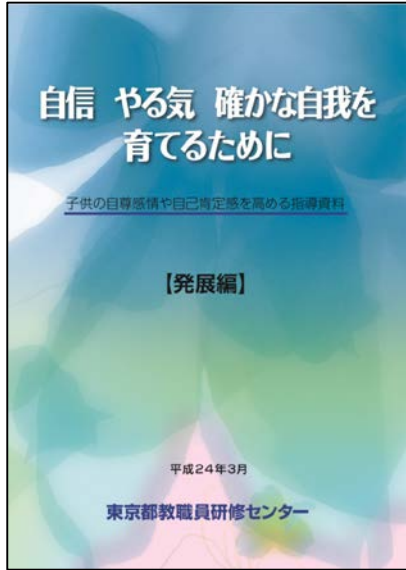
和田中学校は

生徒の「主体的な行動」に必要な
「自己肯定感」等の現状を把握し

生徒理解を深めるために

「自尊感情調査」 「hyper-QU」等の
実施・分析に取り組んでいます

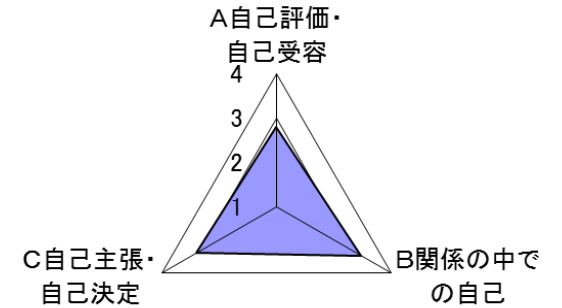
◎ 「自尊感情」「hyper-QU」調査分析による生徒理解



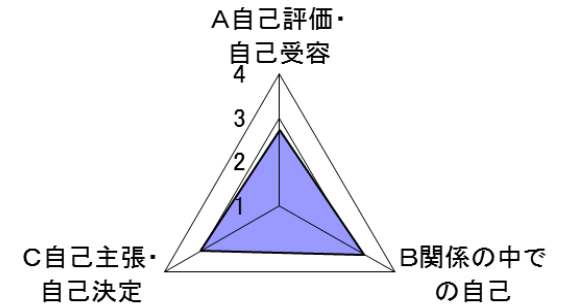
生徒の実態を理解する

- ・今年度は臨時休業があったため、9月に実施。調査結果は、個人別の表を作成し12月の「三者面談」時に、担任から説明を含めて三者で共有
- ・生徒や保護者にとっては「自己理解」等を促し、教員にとっては生徒の特徴を多面的に把握するツールとして活用

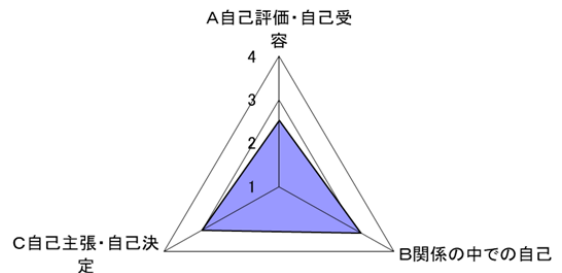
1年生



2年生



3年生



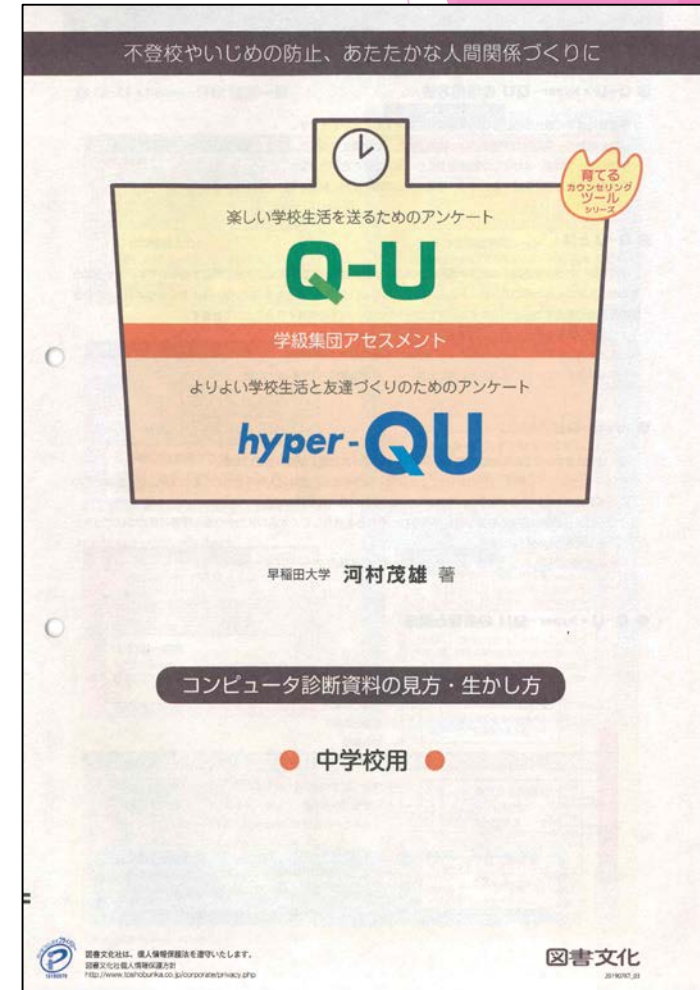
◎ 「自尊感情」「hyper-QU」調査分析による生徒理解

【hyper-QUとは】
学校生活における生徒個々の意欲や満足感、および学級集団の状態を質問紙によって測定するもの。「やる気のあるクラスをつくるためのアンケート」と「いごこちのよいクラスにするためのアンケート」、「日常の行動をふり返るアンケート」から構成されている。

【活用方法】

- ・ 不登校、いじめ等の未然防止
- ・ 学級崩壊の予防、よりよい学級づくり
- ・ 指導効果の評価、検討への活用

令和2年10月～11月に実施

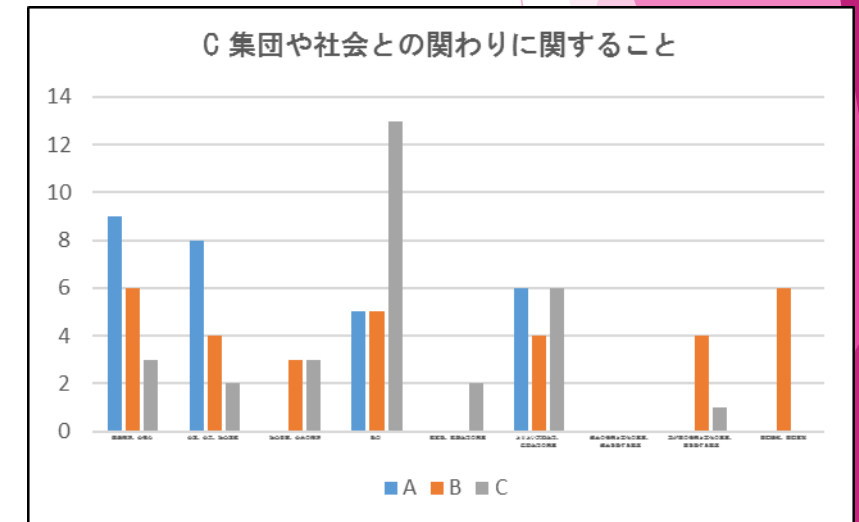
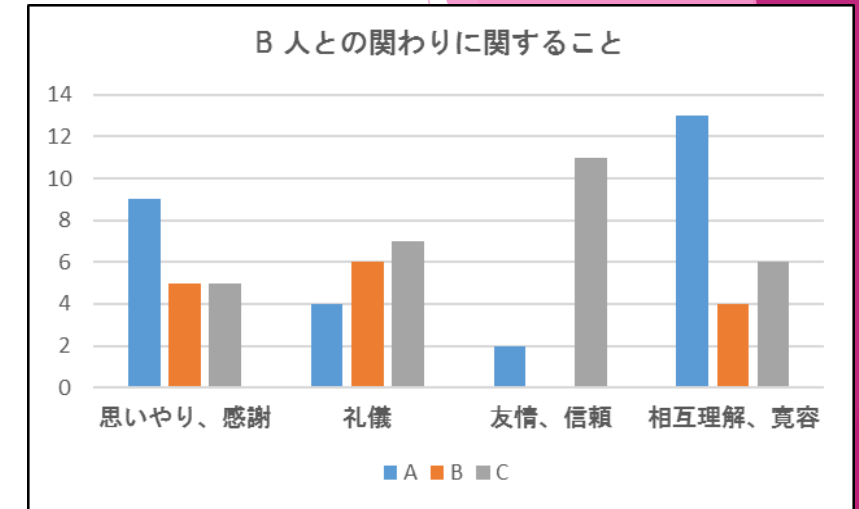


◎ 「道徳科」の全教職員による実践と評価方法の改善

和田中学校は
生徒の「豊かな心」を育むために
全教職員がその持ち味をいかし
道徳科の指導と評価方法の改善に
取り組んでいます

◎ 「道徳科」の全教職員による実践と評価方法の改善

- 「教える」ではなく「ともに考える」
- 教員による偏りを排するために、全教職員による実践
- 授業構成や発問などの工夫
- 毎学期末には、「通知表」に道徳科の「評価」を記載
- 適切な評価とするために、ワークシートを開発
- ワークシートの記載内容と授業での見取りを踏まえて評価（根拠に基づく評価）
- 評価者が評価で取り上げる「内容項目」の偏りを客観的に把握するよう、全生徒の道徳科評価を校長が分析（右図）



「道徳科の評価」で取り上げられている内容項目の分布

2019年度 1学年より

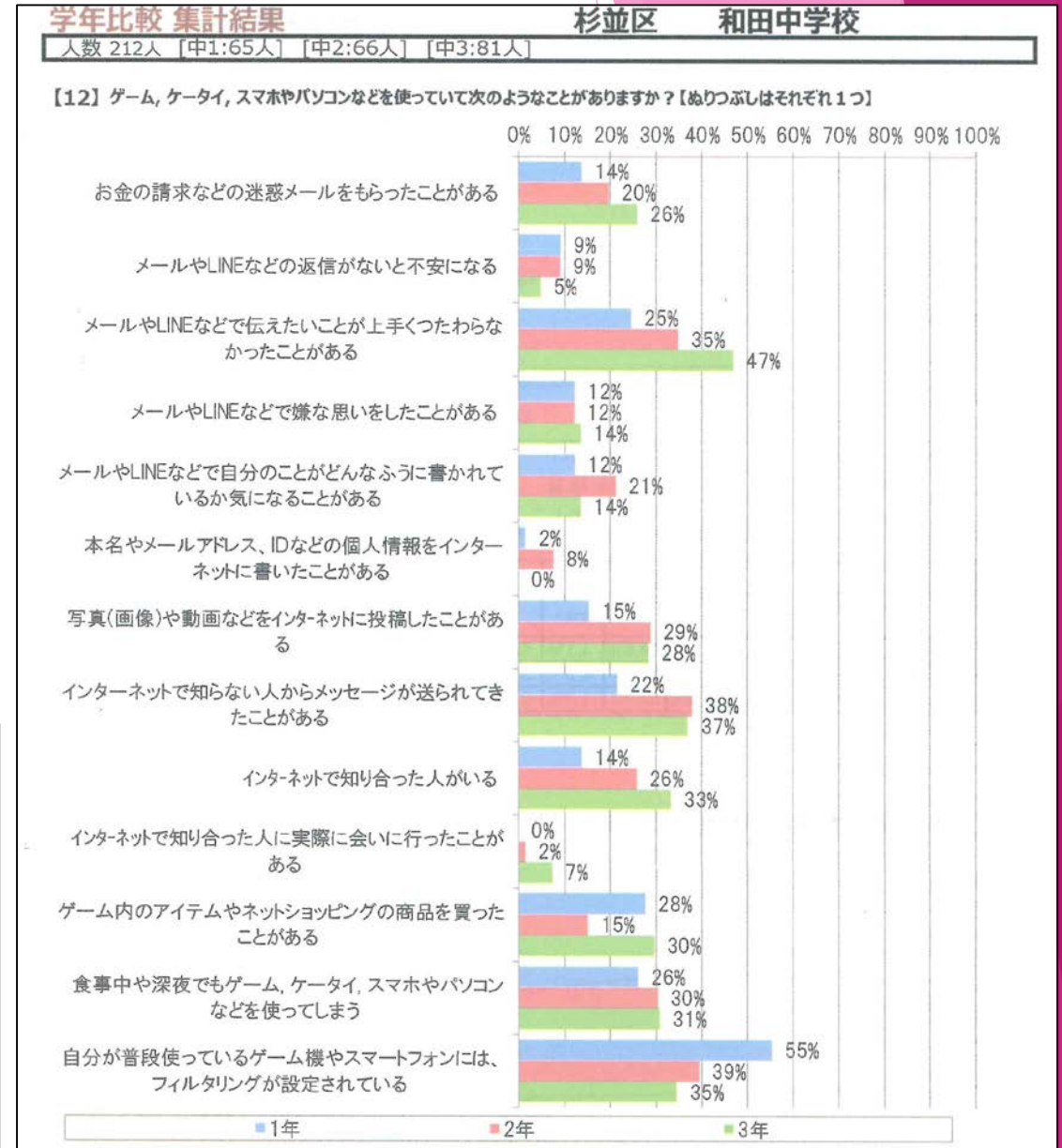
◎ 「情報リテラシー」の現状分析と育成

和田中学校は
生徒の情報リテラシー・モラルを
育てるために
デジタル・情報活用検定を通して
実態把握と分析を踏まえた指導に
取り組んでいます

◎ 「情報リテラシー」の現状分析と育成

- ・ 「情報」が現代の主演となっているのは明らか
- ・ 「情報」をつかみ、分析し、活用する者が多様な機会を得る社会
- ・ 「情報リテラシー」の基盤づくりは義務教育段階にある
- ・ 「情報化社会」を的確に生き抜くためには、「モラル」の形成は不可欠

- ・ 右グラフは、2018年に実施した本校生徒の情報端末利用実態調査の一部
- 写真は、今年1月に実施した情報モラル授業の一コマ



◎ 「情報リテラシー」の現状分析と育成

- 2019年度より、ベネッセと共同して「デジタル・情報活用能力」を測るための「Pプラスジュニア」を実施
- 2021年度は、中1生に「Pプラスジュニア」中2、中3生には、より高度な「Pプラスコア」を実施し、生徒の「情報リテラシー」を把握する

6 Pプラスで測定する4つの力

高度情報社会の中で、情報やテクノロジーが社会に及ぼす影響を理解し、適正な考え方や行動ができる力

情報モラル・セキュリティ

コンピュータの仕組みを理解し、コンピューターを使った問題解決方法を、現実社会に応用する力

コンピューティング (プログラミング)

高度情報社会の中で、コミュニケーションや問題解決のために、目的に合わせて情報を整理したり、表現したりする力

情報デザイン (情報活用)

身の回りや社会にある様々な課題について、データから得られるエビデンスをもとに、解決策を提案する力

データサイエンス

Benesse Corporationより

Strictly Confidential

©Benesse Corporation

◎ 「SDGs」を基盤とした「よのなか科」リニューアル

和田中学校は
「総合的な学習の時間」としての
「よのなか科」を「SDGs」を
中心概念として体系的に構築し
2030年代の社会を支える力の基盤を
生徒に身に付けさせていきます

◎ 「SDGs」を基盤とした「よのなか科」リニューアル

- ・ 「SDGs」を中心概念
- ・ 和田中の看板事業
⇒ 「よのなか科」
- ・ 「単発のイベントをこなす」姿勢から「芯の通った取組み」へ再編
- ・ 3年間を見通した取組み
- ・ 令和2年度の講演内容
 - ◆SDGs 入門
 - ◆商社マンの目を通した国際理解国際協力
 - ◆エシカル消費

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



外務省ホームページより

◎ 「地域本部」との連携強化による「各種検定」等の推進

和田中学校は
地域力を活用し社会とのつながりの
中で生徒の力を高めさせるために
「ドテラ」「各種検定」「放課後自
習ルーム」などで「地域本部」との
連携に取り組んでいます

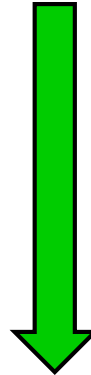
◎ 「地域本部」との連携強化による「各種検定」等の推進

受験級	令和元年度 第1回				令和元年度 第2回				令和元年度 第3回				令和元年度 合計			
	一次試験		二次試験		一次試験		二次試験		一次試験		二次試験		一次試験		二次試験	
	受験者数	合格率	受験者数	合格率	受験者数	合格率	受験者数	合格率	受験者数	合格率	受験者数	合格率	受験者数	合格率	受験者数	合格率
2級	1	0.0%	0	#DIV/0!	4	50.0%	2	50.0%	4	50.0%	3	100.0%	9	44.4%	5	80.0%
準2級	6	33.3%	2	100.0%	12	25.0%	3	66.7%	8	62.5%	5	60.0%	26	38.5%	10	70.0%
3級	25	68.0%	18	100.0%	18	72.2%	13	84.6%	5	60.0%	3	100.0%	48	68.8%	34	94.1%
4級	6	66.7%			5	100.0%			8	87.5%			19	84.2%		
5級	6	100.0%			4	100.0%			4	100.0%			14	100.0%		
計	44	65.9%	20	100.0%	43	62.8%	18	77.8%	29	72.4%	11	81.8%	116	66.4%	49	87.8%

受験級	令和2年度 第1回				令和2年度 第2回				令和2年度 第3回				令和2年度 合計			
	一次試験		二次試験		一次試験		二次試験		一次試験		二次試験		一次試験		二次試験	
	受験者数	合格率	受験者数	合格率	受験者数	合格率	受験者数	合格率	受験者数	合格率	受験者数	合格率	受験者数	合格率	受験者数	合格率
2級					4	25.0%	1	100.0%	1	0.0%	0	#DIV/0!	5	20.0%	1	100.0%
準2級					4	100.0%	4	100.0%	4	25.0%	0	#DIV/0!	8	62.5%	4	100.0%
3級					20	75.0%	13	92.3%	17	70.6%	0	#DIV/0!	37	73.0%	13	92.3%
4級					17	88.2%			8	87.5%			25	88.0%		
5級					5	100.0%			3	100.0%			8	100.0%		
計					50	80.0%	18	94.4%	33	69.7%	0	#DIV/0!	83	75.9%	18	94.4%

「新型コロナウイルス感染症」のため実施できず

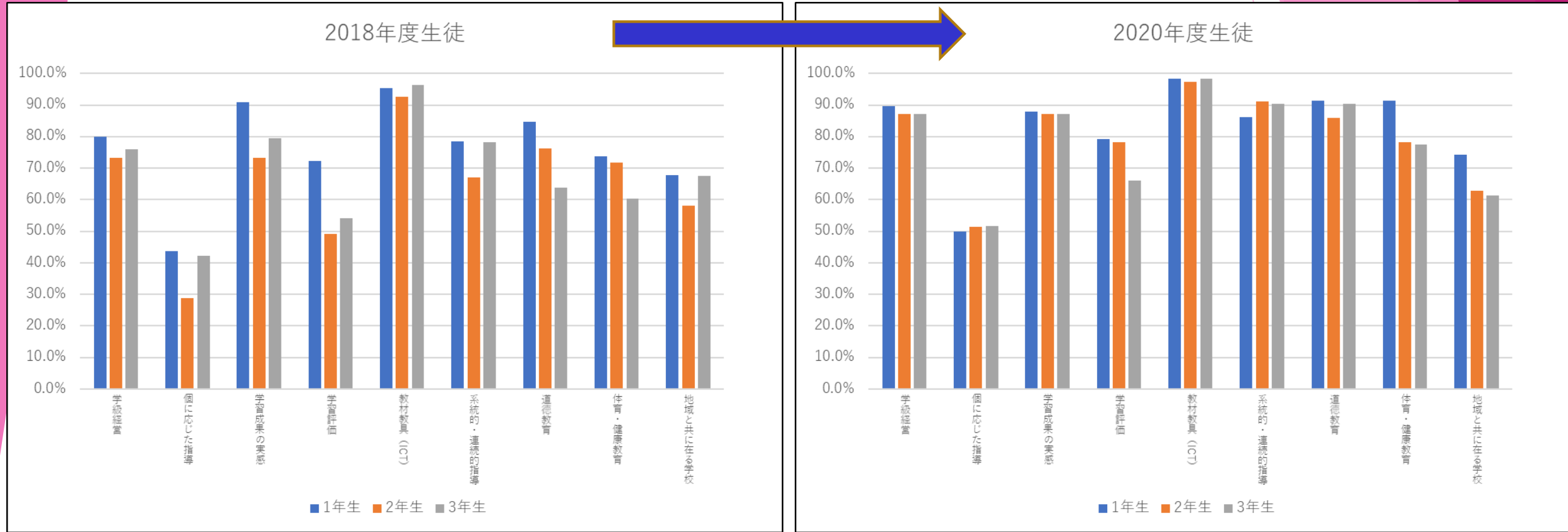
「英語検定」では、令和2年度は「第2回」から実施となりました。昨年度と比べると、第2回の「合格率」が高まっていることが分かります。また第3回も含め「3級」の合格者数が増えているという好ましい傾向が見られます。



和田中学校地域本部資料より

◎杉並区「教育調査」の分析

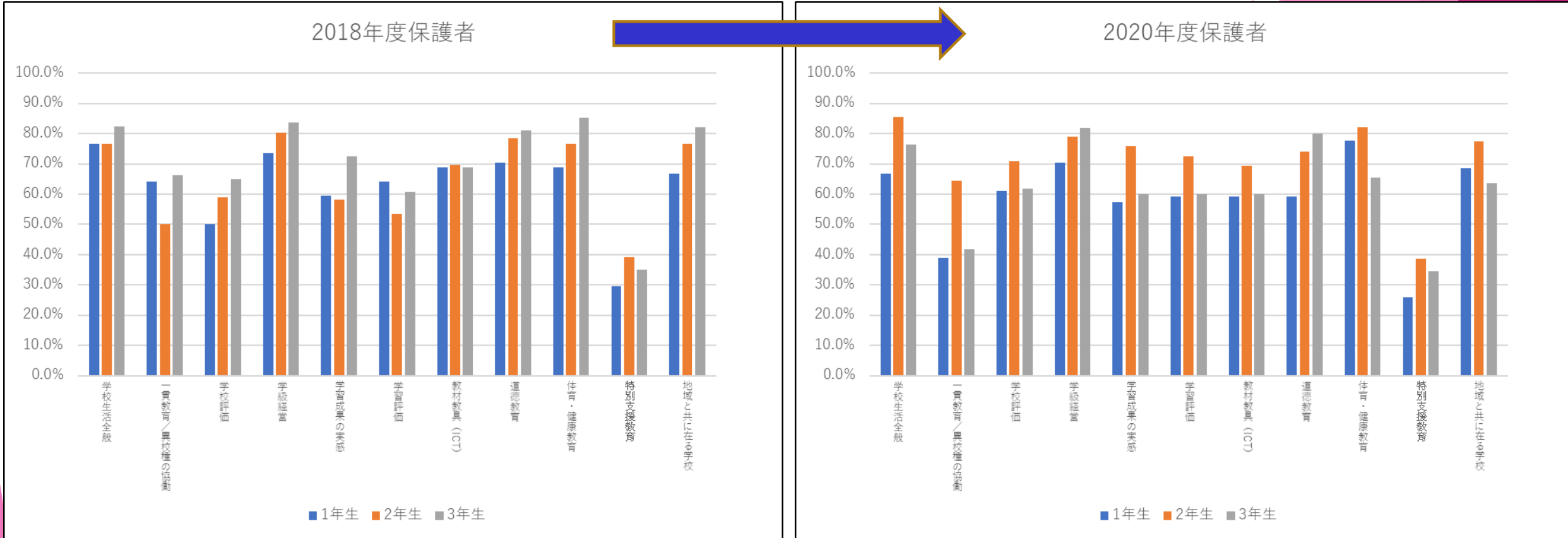
2018年度と2020年度の「在籍生徒」比較



- ・ 2018年度に比べ2020年度は、すべての領域での肯定率が高まっている。
- ・ 2018年度に見られた学年間の格差が改善され、2020年度は頭がそろってきている

◎杉並区「教育調査」の分析

2018年度と2020年度の「保護者」比較



・2018年度に比べ2020年度の保護者の肯定率は、2学年では向上しているが1学年と3学年では低下しているものも多く、現状と照らし合わせ課題を明確化させる上で今後の重要な資料となった



「H27～R1年度卒業生」進路先一覧（都立）

	H27	H28	H29	H30	R1		H27	H28	H29	H30	R1		H27	H28	H29	H30	R1
井草	7	2		1	1	西	8	2				晴海総合	1				
板橋					1	練馬		1	1		1	大江戸					1
上野			1			白鷗		1				芦花	1		1	2	
大泉		1				八王子東	1					六本木		1		1	
大森	1					東村山				1		園芸				1	
大山	1					光丘		1		3		農業	2				
荻窪	5	4	2		2	一橋		1				農芸	2	1	1	2	1
葛西南				1		日野		2				農芸（定）				1	
北園				1		日比谷	1	1				第一商業	4	3			2
国立	1				1	深川					1	第四商業	2				
駒場	1		1		2	深沢		1			1	第五商業				1	
小山台		2				富士	2	2	1	2	1	芝商業			1		
鷺宮	2		2	1	2	松原	5	1	3	3	1	中野工業		1			
桜町			2			三田	1					杉並工業	2		2		
城東	1					南平				1		練馬工業	1				
新宿	1	1			1	向丘	1										
神代			1			武蔵丘	1	1	1	1							
杉並	8	9	4	5	1	武蔵野北			1		1						
高島		1				雪谷		1				都立進学者	80	49	37	37	31
竹台		1				国分寺					1	在籍数	155	101	87	85	72
千歳丘	7				1	新宿山吹	2		2		1	都立進学率	51.6%	48.5%	42.5%	43.5%	43.1%
千早		1				杉並総合		2	5	4	2						
豊島	1		1			世田谷泉		1		1		※数字の単位は「人」					
戸山	2	2	1	2		総合技術	2					※3月末までの確定進路先を表しており、					
豊多摩	3	1	3	2	4	王子総合					1	受験先等の数字ではない					

今年度の都立推薦の結果は11名受験、4名合格、合格率36.4%
都立推薦では合格率20～25%が標準なので、今回はかなり良い結果となりました



「H27～R1年度卒業生」進路先一覧（私立他）

年度	27	28	29	30	1	年度	27	28	29	30	1	年度	27	28	29	30	1	年度	27	28	29	30	1
青山学院高等部		1				淑徳	2				1	桐朋女子			1			明星学園				1	
郁文館	3					淑徳巣鴨		1		1		東洋		1			1	早稲田実業	1				
神田女学園		1		1		昌平高校			1			豊島学院		1		1		立志舎					1
関東国際			1	1	1	城北	1				1	二松学舎大付属		1				沖縄尚学					1
関東第一		1	1			杉並学院	6	2	2	1	1	日大櫻丘	2	2	1		1	中央国際	1				
錦城高校		1				成蹊		1	1			日大鶴丘		1		2		千葉県立関宿	1				
クラーク国際					2	正則学園	1					日大二	1			1		千葉県立実籾高校		1			
慶應義塾		1				聖パウロ	1					日大豊山			1		2	滝川第二高校				1	
慶應志木			1			西武学園文理	1					新渡戸文化	1			2	1	高川学園		2			
京華				1		専大附属	5		2	2		日本学園			1		1	帝京ロンドン				1	
佼成学園	1	1	2	3		早大学院					1	日本女子大附属	1		1			東京スクールオブミュージック				1	
佼成学園女子	1		3	1		大成					1	白鷗大学足利					1	野田鎌田学園					1
國學院	5	2		2	1	大東学園	1		2	1	1	八王子学園八王子					1	国際芸術学園	1				
國學院久我山				1		玉川学園	1	1				日出学園	2	1				ヴィーナズアカデミー	3				
國學院栃木			1			玉川聖学院			2			富士見丘		1	1			N高校					1
ICU高校		1				多摩大目黒	1		1			文大杉並	1		2	4	3						
駒込					1	中大杉並	1	1	2	2		法政大学高校		1				私立他進学者	75	52	47	48	41
駒場学園					1	帝京		1				法政大学第二				1		在籍数	155	101	87	85	72
実践学園	3	5	1	3		東亜学園	6	1		2	1	宝仙学園	2	2	1			私立他進学率	48.4%	51.5%	54.0%	56.5%	56.9%
品川エトワール	1	1	1			東京工業高专					1	朋優学院		1									
芝浦工大附属		1				東京工業大学附属					1	保善	1	2				※数字の単位は「人」					
女子美大附属					2	東京女子学園	1					堀越	2	1	1		1	※3月末までの確定進路先を表してお					
下北沢成徳				1		東京電機大学					1	明治学院					1	り、受験先等の数字ではない					
自由ヶ丘学園	2					東京農大一	1					明聖					1						
自由学園		1				東京文理学院			1			明大中野			1								
修徳	1					東京立正	8	8	7	9	9	目白研心	1	1									

現在の和田中学校は
生徒の多様な資質や能力の
一層の向上に取り組み
世の中に貢献し、自己の未来を
切り拓く人材としての基礎を
身に付けさせることを
目指している

4月からの入学を
お待ちしております